

4.財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産……定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,932,332	520,084	5,421,220	6,031,196
投資有価証券	1,032,067,668	285,421,220	280,520,084	1,036,968,804
合計	1,043,000,000	285,941,304	285,941,304	1,043,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	6,031,196	(1,215,732)	(4,815,464)	—
投資有価証券	1,036,968,804	(964,583,268)	(72,385,536)	—
合計	1,043,000,000	(965,799,000)	(77,201,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	525,000	455,000	70,000
合計	525,000	455,000	70,000

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
利付国債 第298回	100,666,400	104,540,000	3,873,600
利付国債 第299回	100,543,100	104,800,000	4,256,900
利付国債 第306回	100,353,020	106,290,500	5,937,480
利付国債 第310回	39,941,085	41,868,000	1,926,915
利付国債 第324回	100,268,312	104,305,300	4,036,988
利付国債 第326回	99,678,776	103,564,100	3,885,324
利付国債 第332回	9,975,476	10,250,000	274,524
利付国債 第338回	10,045,000	10,004,790	△ 40,210
利付国債 第 10回	30,687,536	30,573,000	△ 114,536
電源開発債 第 31回	100,218,815	104,110,000	3,891,185
愛知県債第5回(平成24年度)	41,698,000	41,793,160	95,160
高速道路機構債 第116回	100,000,000	102,570,000	2,570,000
NTT都市開発社債 第 18回	101,140,000	101,522,200	382,200
高速道路機構債 第235回	101,753,284	100,990,000	△ 763,284
合計	1,036,968,804	1,067,181,050	30,212,246

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	9,379,863
合計	9,379,863